



Cisco Nexus Dashboard サイトの管理、リリース 3.1.x

目次

サイトの管理.....	3
サイトの追加.....	3
サイトの編集.....	4
商標.....	6

サイトの管理

Cisco Nexus ダッシュボードを使用すると、複数の CiscoACI、Cisco クラウド ネットワーク コントローラ、および Cisco NDFCファブリックを個別のサイトとして同じクラスタにオンボードできます。ファブリックがオンボードされると、同じCisco Nexus Dashboardクラスタで実行されているアプリケーションで使用できるようになります。

サイトを追加するには、そのコントローラのインバンドまたはアウトオブバンドの IP アドレスとログイン情報が必要です。サイトのオンボーディングに使用するIPアドレスのタイプは、サイトを使用するNexus ダッシュボードサービスによって異なります。詳細については、次のセクションで説明します。Cisco Nexus Dashboard クラスタに追加されたサイトは、デフォルトではサービスで有効化されていないため、各サービスの GUI から直接明示的に有効化する必要があります。

Nexus Dashboard に 1 つ以上のサイトをオンボードした後、左側のナビゲーションサイドバーから【サイト (Sites)】を選択すると、オンボードしたサイトを Nexus Dashboard GUI で表示できます。【サイト (Sites)】ページでサイト名の横にある【開く (Open)】リンクをクリックして、サイトの GUI を直接起動することもできます。

リモート認証を使用して Nexus Dashboard にログインし、起動するサイトで同じログインドメインとユーザーが設定されている場合は、再認証することなくサイトの GUI に自動的にログインできます。

サイトの追加

はじめる前に

- ・ ファブリック接続がすでに設定されている必要があります。
- ・ Cisco Nexus Dashboard は、3 種類ファブリック (APIC, Cloud Network Controller (APIC、Cloud Network Controller、および NDFC) すべてのオンボーディングをサポートしますが、サービスと互換性のある特定のファブリックタイプとバージョンについては、「[サービス互換性マトリックス](#)」を参照してください。
- ・ Cisco APICサイトを追加する場合は、Cisco Nexus DashboardデータネットワークのIP接続用のEPG/L3Outを事前に設定する必要があります。

詳細については、「[ファブリック接続](#)」を参照してください。

- ・ Cisco APIC サイトを追加し、Insights サービスのインストールを計画している場合は、次の手順を実行します。
 - Cisco Nexus Dashboardからデータネットワークを介したCisco APICインバンドIPへのIP接続を設定する必要があります。
 - Cisco Nexus DashboardからリーフノードおよびスパインノードのインバンドIPへのIP接続を設定する必要があります。
- ・ Cisco NDFCサイトを追加するには、次を実行します。
 - ファブリックとスイッチへのレイヤ3接続を設定する必要があります。
 - クラスタがAWSまたはAzureに展開されている場合は、データ インターフェイスでインバウンドルールを構成する必要があります。

これは通常、最初のクラスタ展開中に行われ、「[Cisco Nexus 展開ガイド](#)」で詳細に説明されています。

サイトを追加するには、次の手順を実行します。

1. Nexus Dashboard の [管理コンソール (Admin Console)] に移動します。
2. メイン ナビゲーション メニューから [操作 (Operate)] > [サイト (Sites)] を選択します。
3. メインペインで、[サイトの追加

(Add Site)] をクリックします。

[サイトの追加 (Add Site)] 画面

が開きます。

4. [サイトの追加] ページでは、サイト情報を入力します。

- ホスト名/IP アドレス (Host Name/IP Address) : サイトのコントローラとの通信に使用する IP アドレスを入力します。

NDFC サイトの場合、これは NDFC のインバンド IP アドレスである必要があります。アドレスを指定する場合、URL 文字列の一部としてプロトコル (`http://` または `https://`) を含めないでください。追加すると、サイトの追加に失敗します。

- [ユーザー名 (User Name)] と [パスワード (Password)] : 追加するサイトで管理権限を持つユーザーのログイン情報。
- (オプション) [ログイン ドメイン (Login Domain)] : このフィールドを空白にすると、サイトのローカル ログインが使用されます。
- (オプション) [ピア証明書を検証 (Validate Peer Certificate)] : Nexus Dashboard が、接続先ホスト (例えばサイト コントローラ) の証明書が有効であることと、信頼されている認証局 (CA) に署名されていることを検証できるようにします。



手順に従ってください。

このオプションを使用してサイトを追加する前に Nexus ダッシュボードに証明書が既にインポートされていることが必要です。証明書をまだ追加していない場合は、[サイトの追加 (Add Site)] ウィザードをキャンセルし、

まず [ピア証明書の検証 (Validating Peer Certificates)] で説明されている

その後、証明書をインポートした後、ここで説明されているようにサイトを追加します。

有効な証明書をインポートせずに [ピア証明書を検証 (Validate Peer Certificate)] オプションを有効にすると、サイトのオンボードは失敗します。

必要な情報を入力したら、[次へ (Next)] をクリックして続行します。

5. [詳細 (Detail)] ページで、追加のサイトの詳細を入力します。

- [名前 (Name)] : : サイトの説明となる名前。
- [場所 (Location)] : サイトの地理的な場所。このオプションは、オンプレミス サイトでのみ使用できます。必要な情報を入力したら、[次へ (Next)] をクリックして続行します。

6. [概要 (Summary)] ページで情報を確認し、[保存 (Save)] をクリックしてサイトの追加を完了します。

サイトの編集

拠点を編集するには、次の手順を実行します。

1. Nexus ダッシュボードの [管理コンソール (Admin Console)] に移動します。
2. メイン ナビゲーション メニューから [操作 (Operate)] > [サイト (Sites)] を選択します。
3. 編集するサイトの [アクション (Actions)] (...) メニューから、[サイトの編集 (Edit Site)] を選択します。[サイトの編集 (Edit Site)] 画面が開きます。
4. [サイトの編集 (Edit Site)] 画面で必要な変更を加えます。
 - セキュリティドメインを削除するには、既存のドメインの横にある [削除 (Delete)] アイコンをクリックします。
 - 1 つ以上のセキュリティドメインを追加するには、[+セキュリティドメインの追加 (+Add Security Domain)] をクリックします。
 - サイトを再プロビジョニングするには、[サイトの再登録 (Re-register Site)] チェックボックスをオンにして、必要な情報を入力します。

Cloud Network Controller のパブリックIPアドレスが変更された場合、Nexus Dashboard Orchestrator で使用される Cloud Network Controller サイトでは、サイトの再登録が必要になる場合があります。

Orchestratorサービスによって管理されるNDFCファブリックのIPアドレス情報を変更した場合にも、このオプションを使用できます。

ヒ

Nexus Dashboard Insights サービスでは、サイトの再登録はサポートされていません。

5. [保存 (Save)] をクリックして、変更内容を保存します。

はじめる前に

- ・ Nexus Dashboardにインストールされているアプリケーションでサイトが使用されていないことを確認します。サイトを削除すると、そのサイトを使用しているすべてのアプリケーションが中断されます。
- ・ Cisco ACIファブリックがサイトとしてNexus Dashboardに追加されている場合、いくつかのポリシーがCisco APICで作成されている可能性があります。オンボードされているサイトを削除することなくNexus Dashboardをクリーンリブートしても、Cisco APICで作成されたポリシーは削除されません。Cisco APICでこれらのポリシーをクリーンアップするには、サイトを再度追加して削除する必要があります。

1つまたは複数のサイトを削除するには、次の手順を実行します。

1. Nexus Dashboard の [管理コンソール (Admin Console)] に移動します。
2. メイン ナビゲーション メニューから [操作 (Operate)] > [サイト (Sites)] を選択します。
3. 削除するサイトの [アクション (Actions)] (...) メニューから、[サイトの削除 (Remove Site)] を選択します。
4. [削除の確認 (Confirm Delete)] ウィンドウに、サイトのログイン情報を入力します。
5. [OK] をクリックしてサイトを削除します。

商標

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されており、この参照により本マニュアルに組み込まれるものとします。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または黙示のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco および Cisco のロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認くださいだけです。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナー関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。

© 2017-2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

初版：2023年1月31日

最終更新日：2023年4月11日

米国本社

Cisco Systems, Inc.

170 West Tasman Drive

San Jose, CA 95134-1706 USA

<http://www.cisco.com>

Tel: 408 526-4000

800 553-NETS (6387)

Fax : 408 527-0883